

校長室だより

第14号



令和3年12月24日
校長 齋藤 瑞穂

2学期をふいかえって

～がんばったこと できるようになったこと～

2学期が今日で終わります。毎日の学習や生活はもちろん、たくさんの行事を通して、みなさん一人一人が大きく成長した4か月間でした。みなさんはどんなことが心に残っていますか？



10月2日の体育発表会は、今年度も

学年ごとの発表でした。特に各学年の表現演技は、晴天の下、どれも見応えがありました。

11月10日から
12日は、弓ヶ浜移動教室。5・6年生が一緒に体験してきました。ふだん学校では知ることのなかつた友達の良いところをたくさん見つけてきました。



11月20日は1・2・3年生の学習発表会。たくさんのおうちの方が見に来てくださいました。みんなもおうちの方も、みんなうれしそうでした。

続いて12月4日は4・5・6年の学習発表会。学習をどのように発表しようか、自分たちでしっかり考え、話し合って作り上げたものというのが



伝わってくる素晴らしい発表でした。さすが杉七小の高学年！感動しました。



ほかにも、学校支援本部のみなさんに支えていただきながら、2年生の町たんけんや1年生の秋さがし、3年生の戦争の時のお話を聞く会や4年生の盲目のドramaさんとの交流、5年生の端切れを利用したコサージュづくりに6年生の日本文化を知る学習…などなど、たくさんの活動ができました。



夏休み明けの9月はじめは、新型コロナウィルスの感染状況もまだ厳しく、いつ臨時休業になってもおかしくない状況でした。それでも、学期を始めたからには、移動教室や学習発表会など、今まで学校が大切にしてきた活動はできるだけやりたい——そのために、感染症対策として、みなさんは「てまき」をがんばりましたし、先生たちは、活動の内容や方法に知恵をしぼって工夫をこらしました。また、おうちの方も毎日健康観察をていねいに続けるなど、みなさんの体調管理に協力してくださいました。みんなが力を合わせたからこそ、2学期のいろいろな活動ができたのです。そのことも忘れず、心にとめておいてくださいね。

さあ、3学期は学年のまとめの学期です。さらにどんな活動ができ、みなさんは何を学ぶでしょう。わくわくしますね。